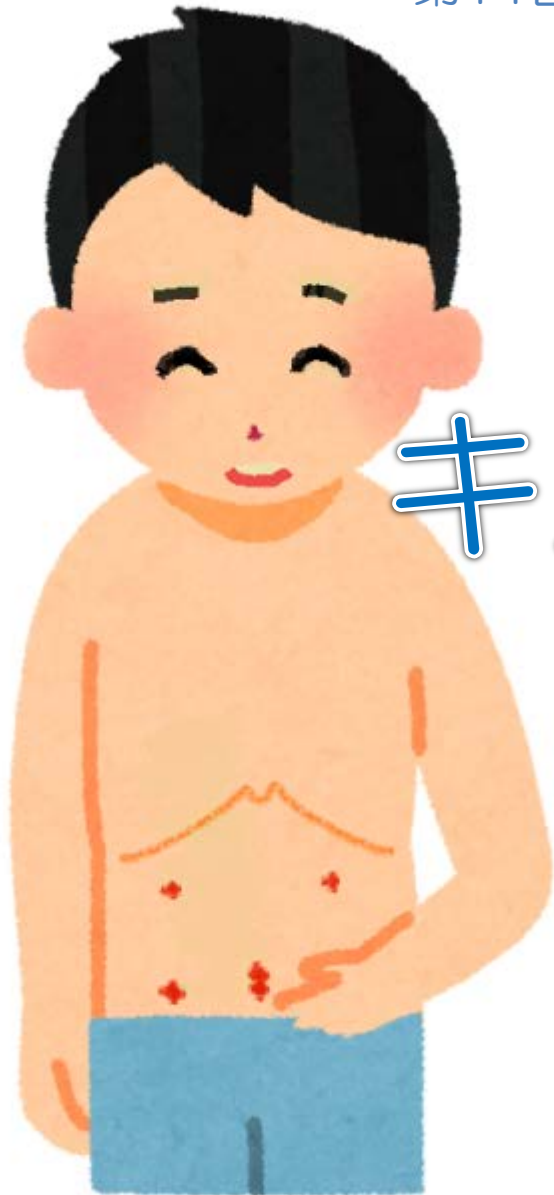


国立がん研究センター東病院
第11回オープンキャンパス 市民公開講座



キズの小さな手術の 最前線

かん たん すい げ か
肝胆膵外科 小林信

2017年10月14日

がんセンター東病院における キズの小さな手術

- ✓ 各部門の良好な連携で最良の手術を提供
- ✓ 生存期間に差がないことを科学的に検証
- ✓ 可能な限り臓器機能を温存・再建

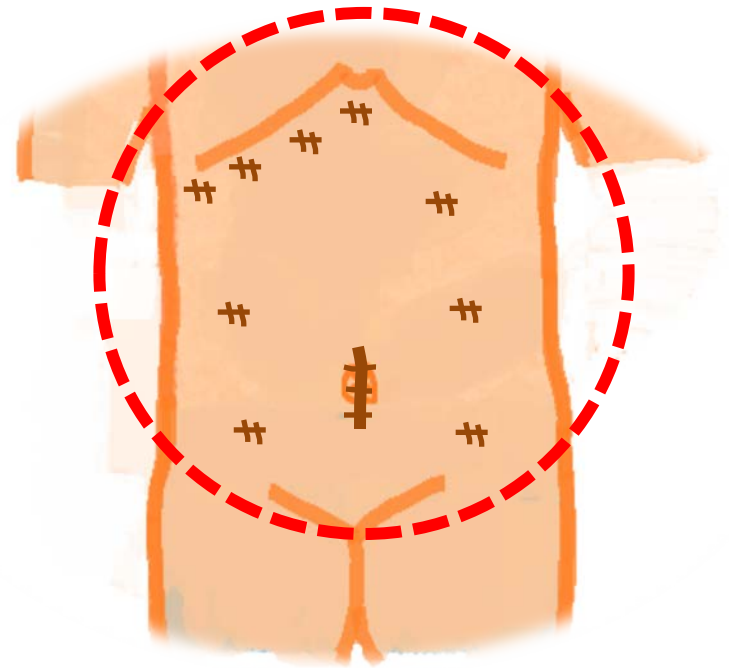
良好な連携による最良手術の提供

例：直腸がん^{てんい}と肝臓への^{てんい}転移の同時切除

肝臓への^{てんい}転移



当院

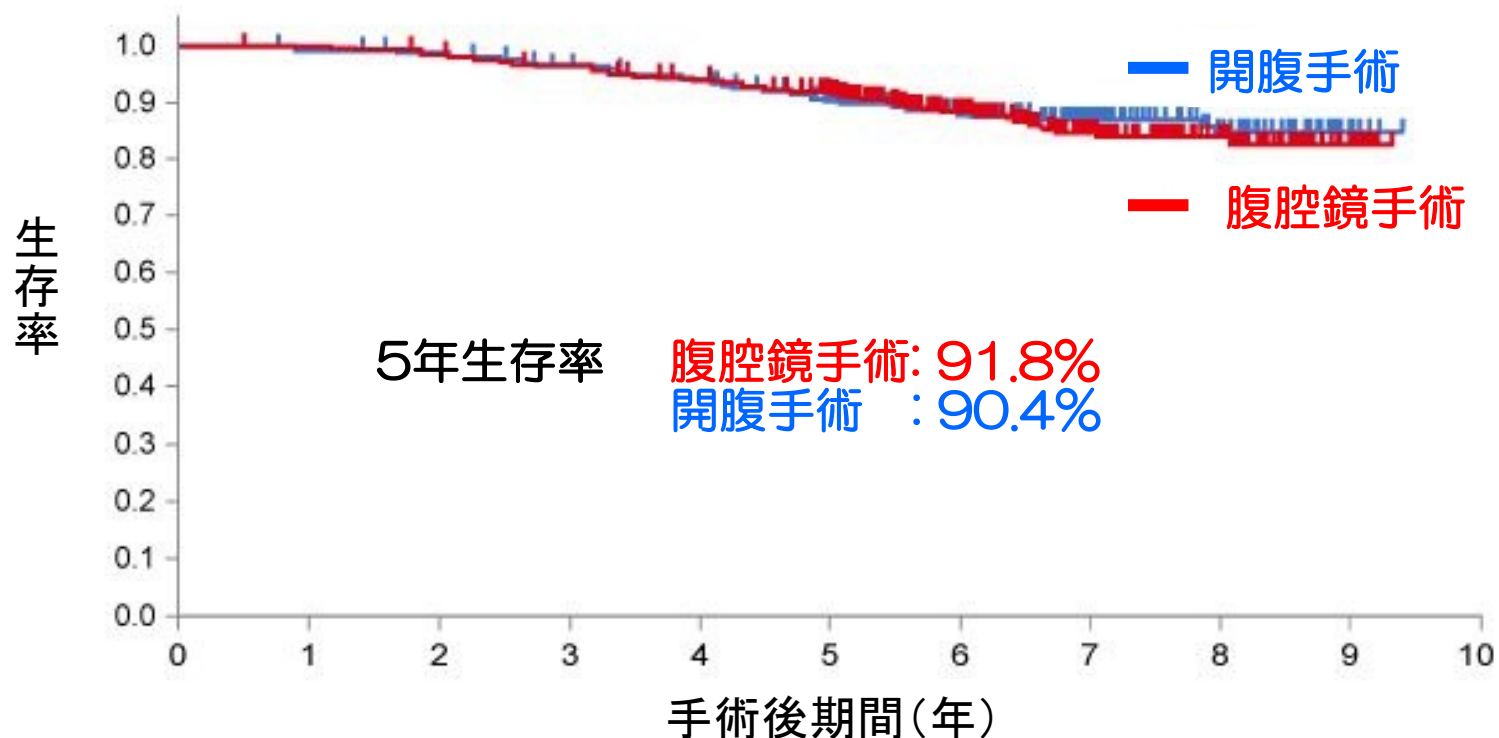


1回の手術で6-8時間程度で手術可能
累計40例程度の経験

生存期間の検証試験（大腸がん）

開腹手術 vs ^{ふく くう きょう}腹腔鏡手術の生存率

(2004-9年の全国1057例の手術での成績)



機能温存：肛門

肛門を温存して永久人工肛門を回避します



従来の手術



ふくくうきょう
腹腔鏡下ISR手術



機能温存：乳房

直径3cm以下の腫瘍しゅようの場合、乳房を温存できる可能性があります

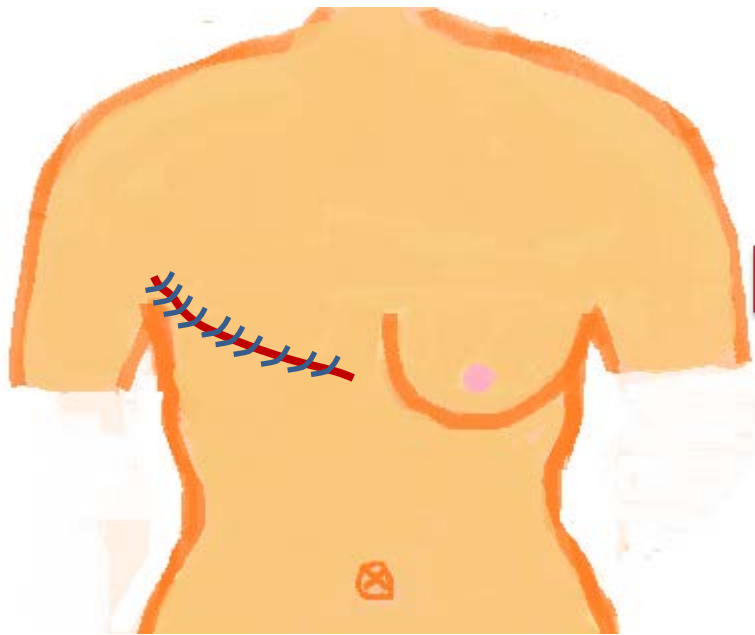
乳房温存手術



機能再建：乳房

どうしても機能を温存できない時、再建します

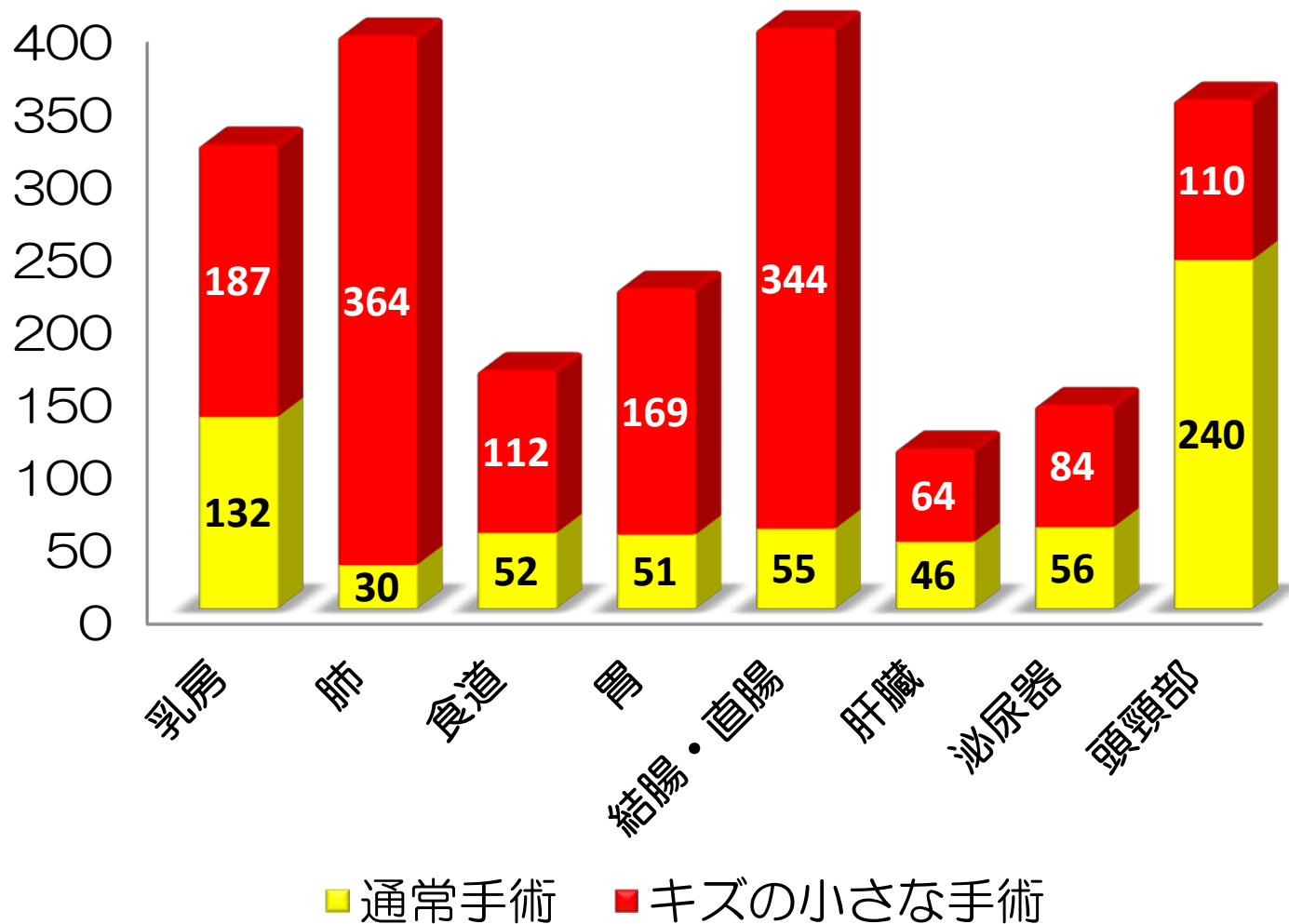
再建前



再建後

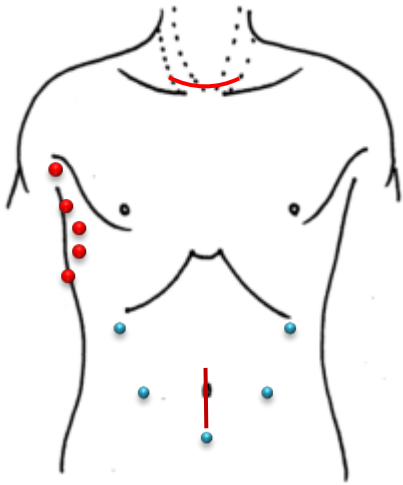


手術症例数(2016年)



食道外科

きょう くう きょう ふく くう きょう
胸腔鏡 + **腹腔鏡** 食道がん手術
 ⇒ 全国 **2位** の症例数

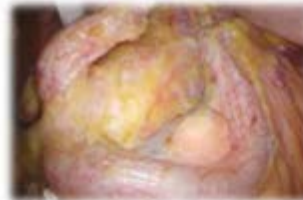


Esophagectomy
In NCCH East



胃外科

ふく くら きょう
腹腔鏡下胃切除
⇒ 全国**2位**の症例数



腹腔鏡下D2郭清



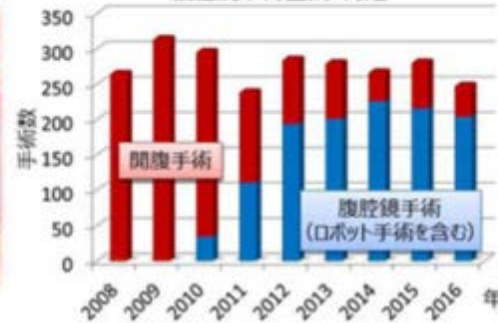
腹腔鏡下胃全摘・再建



ロボット支援手術



開腹拡大手術



術前3D-CT シミュレーション

大腸外科

肛門温存の最先端施設

⇒国内ダントツ1位

世界的にも有数な症例数

600例以上の肛門を温存



手術件数(2016年)

結腸がん：186 (腹腔鏡^{ふく くら きょう}下155、開腹31)

直腸がん：223 (腹腔鏡^{ふく くら きょう}下189、開腹24)

肝胆膵外科

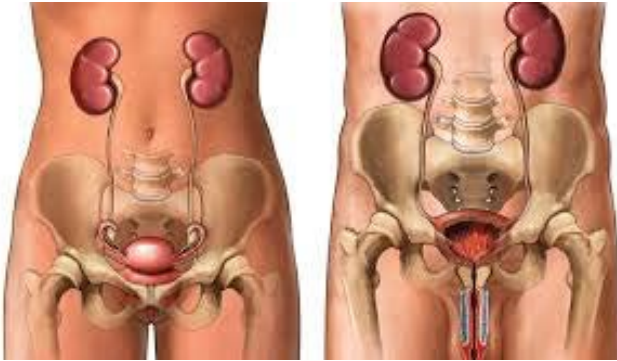
転移性肝がん 46例
肝細胞がん 19例

ふく くら きょう
腹腔鏡下肝切除
⇒ 全国最多の症例数(2015年)

手術後5日での退院・早期社会復帰



泌尿器科



副腎・腎・尿管・膀胱・前立腺・外陰部

➡ 広い範囲の臓器が対象

➡ がんの状態に応じた術式選択

ふく くら きょう

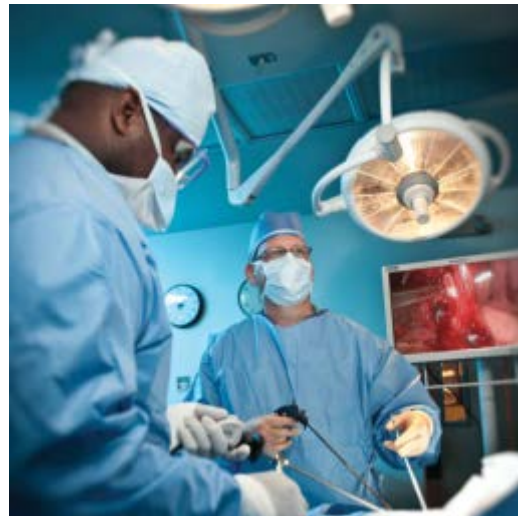
開腹手術

58 例



腹腔鏡手術

48 例

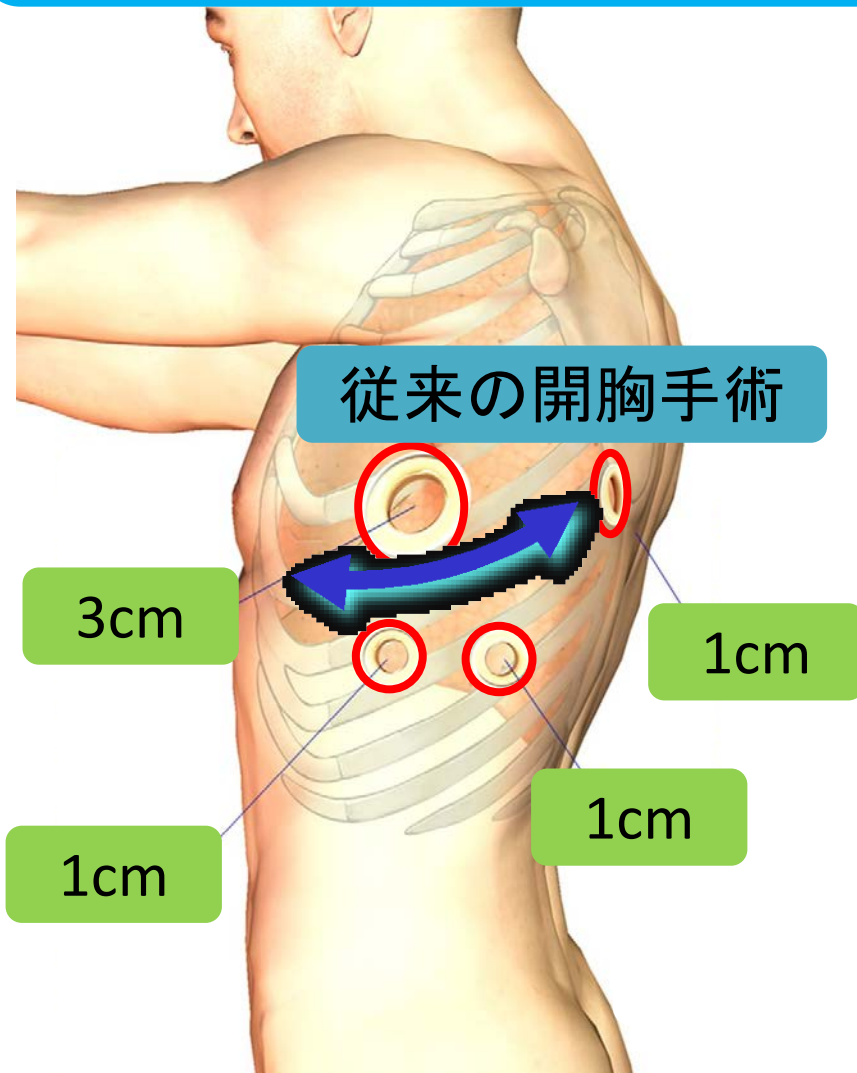


ロボット手術

36 例



呼吸器外科



患者さんのメリット

- ^{ろっこつ}肋骨の間を無理に広げない。
→手術後の痛みが少ない。
- 体へのダメージが少ない。
→回復が早い。
- キズが小さく目立たない。

乳腺外科

切らない乳房温存の新しいカタチ
ラジオ波^{ぎょうこ}凝固術の臨床試験も展開

乳房温存手術



キズが小さい

ラジオ波凝固術



キズは針穴だけ

器材



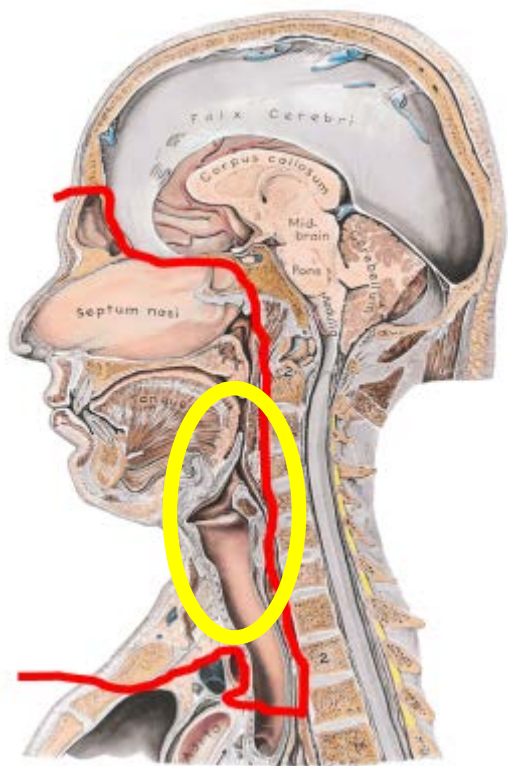
17G クールチップ針



ラジオ波発生装置 冷却用ポンプ

とう けい ぶ
頭頸部外科

皮膚を切らずに口からノドの奥を手術します
発声や食事が今までどおり可能です



術後食事開始 (中央値)
術後入院期間 (中央値)
手術合併症
3年粗生存率
局所制御率
喉頭機能温存率

経口的

外切開

2日

7日

7日

15日

11.5%

28.6%

86.0%

88.1%

96.5%

79.4%

100%

88.2%

形成外科

どうしても機能を温存できない時
機能を再建します

頭頸部 ^{とうけいぶ} 再建	122例
乳房再建	37例
その他再建	66例

当院のがん手術

- ✓キズの小さな手術、機能温存手術、拡大切除を患者さんに合わせて選択しています。
- ✓他院で不可能と言われた手術が、当院では可能な場合があります。
- ✓お気軽にご相談ください。

新手術室棟の特徴

国内でもトップクラスの手術数

教育・開発機能も付随
鏡視下手術の発展を加速



当院の理念

革新への挑戦と変革

職員の全ての活動はがん患者のために！

